

1 学校目標

<p>1 教育目標 『あなたたちは世の光である あなたたちは地の塩である』</p> <p>(1) 自分のまわりに喜びと光をまく人として、将来社会に貢献できる人材を育成する A. 主体性を育てる B. 自己を他者にひらいてかかわる力や態度を養う C. 神に心をひらく生き方を促す D. 調和のとれた人格の発達をめざす</p> <p>(2) 建学の精神をふまえ、すべての生徒がその個性と能力を最大限に伸ばすことを願い、学力を基礎とした人間力のある生徒を育成する</p>
<p>2 生徒に身につけさせたい資質・能力 『人間力』</p> <p>(1) 主体的に学び続け、目標に向かって最後までやり抜く力（基礎学力の定着と学力UP）</p> <p>(2) 他者とかかわり社会で働く知識と技能（コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力）</p> <p>(3) 課題を発見し解決していく思考力、判断力、表現力</p>
<p>3 ミッション 『教育の特色を理解し、生徒一人ひとりの自己実現を支援する』</p> <p>(1) 萩光塩学院の教育の理念を理解し、それを日々の学校教育において具体化し、充実・発展させていく</p> <p>(2) 各教科で研究を行い、基礎学力の定着と応用力の発展に努める（学力定着の具体的な取り組みを行う）</p> <p>(3) 生徒の進路実現に向けて現状の課題をみつけ、対策・強化に努める（新たな入試制度に対応）</p> <p>(4) 地域との連携・協働を通じて生徒の役割や活動の場をさらに増やし、生徒の自己肯定感の醸成を図る</p>
<p>4 めざす教師像 『自分のまわりに喜びと光をまく教師』</p> <p>(1) 教育的な情熱・真剣さ・・・教師として真剣に教育活動に携わる心をもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理想を掲げ、具体的な目標に向かって生徒と共に汗をながすことができる教師 ・生徒一人ひとりのよさや可能性を引き出し、のばすことができる教師 ・受容的姿勢を大切にすると共に、生徒の将来を意識して「是は是、非は非」とした指導ができる教師 ・真摯な態度で職務に取り組み、モラルの向上と綱紀の保持に努める教師 <p>(2) 教育的力量を身につける・・・「気持ち」だけでなく、能力や技能を身につけて実践する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科研究、教科指導に積極的に取り組む教師 ・責任を持って自分の役割を果たすと共に組織の一員であることを忘れず、助け合うことができる教師 ・生徒や保護者、地域との連携を図り、迅速に対応することで信頼関係を築くことができる教師 ・地域との交流を深化し、地域が本校に求める情報等を入手し、学校・クラス運営に反映させる <p>(3) 総合的な人間力を高める・・・教師としてある前に、人としての魅力を高めようとする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活全てにおいて、前向きに自分自身を成長させていこうとする考えや姿勢を持つ教師 ・自ら考え、工夫し、チャレンジ精神を忘れない、実践力のある教師 ・自らの個性や特技を積極的に発揮することができる教師

5 教職員全員で気をつけて取り組むべき5項目 『決まりを守る』

- (1) 綱紀保持に努める
 - ・体罰、暴言、飲酒運転、交通事故、個人情報の管理、セクハラ、パワハラ、公金管理、言葉遣いなど
- (2) 教職員同士の連携の強化
 - ・PDCA サイクルに則って、分掌間の情報を共有し、OJT の推進に努める。
 - ・諸会議等の計画的効率化（限られた時間を有効的に活用するため、会議は計画的、効率的に実施）
- (3) 学校施設・設備・備品の管理・取り扱いに注意
 - ・学校備品の整理整頓（使った物は責任を持って片付ける）
 - ・大切に使用する
 - ・掃除をきちんと行う
- (4) 時間厳守
 - ・授業の開始と終了
 - ・ホームルームの開始と終了
 - ・掃除の徹底
- (5) 提出物の期限を守る
 - ・外部への提出資料はもちろんのこと、内部提出の資料も期限を守る

2 取り組みとそれに対する評価

教 務	
目標（計画）	(1) 生徒の基礎力と学力の向上を図る (2) 新教育課程編成に向けた準備をおこなう (3) 教員として必要な資質向上のための研修をおこなう (4) 教員の授業力向上を図る (5) 建学の精神の進化を図る (6) 業務を簡素化し、効率的に仕事を進められるようにする (7) ICT 機器の積極的な活用を図る
実施事項 （活動内容）	(1) 週4回、朝の時間を使い、高校は週2回、朝学で一般常識や数学、社会、理科の基礎知識の定着を図っている。残りの2回（中学校は週4回）は読書の時間を設け、読解力や思考力、表現力を養っている。国語では校内漢字テスト、英語では校内英単語テストを年に4回実施している。（中学校はこれに加え、数学で年に5回の計算テストを実施している）成績優秀者には表彰を、点数が足りない生徒には、追試験をおこなうなど意欲的に学ぶ姿勢を育てている。 中学校・高校の特別進学コースは7時間目の授業や課外授業、土曜登校日などで学力向上や受験対策をおこなっている。高校の普通コースの生徒には、基礎学力講座や大学進学講座、准看対策講座を実施し、生徒のニーズに合わせた授業をおこなっている。 学力支援が必要な生徒に対しては、個別に学習支援をおこない、基礎知識の定着を図っている。
	(2) 中学校は2021年度より、高校は2022年度より新学習指導要領での学びがスタートする。そこで研修の一環として、外部講師による新学習指導要領改訂に関する講演をおこなった。改訂の方向性やポイント

	<p>を学び、次に各教科に分かれて教科研修をおこなった。現在、高校の新教育課程編成の検討段階である。</p> <p>(3) 今年度はコロナウイルス感染防止の観点から、研修を実施することがほとんどできなかった。外部講師による研修は(2)で述べた新学習指導要領に関する研修のみである。校内研修としては、オンライン授業の研修をおこなった。臨時休校期間中は、中学校や特別進学コースを対象にオンライン授業を実施することができた。</p> <p>(4) 各教科で研究授業を実施し、授業参観や事前事後の研究協議を通して、授業力向上に努めた。 電子黒板やプロジェクターなど ICT 機器を積極的に活用し、分かりやすい授業づくりに取り組んでいる。 年に2回授業アンケートを実施し、現状や課題を把握し、よりよい授業づくりに活かすことができた。また、全授業アンケートを教務で集計し、各教科で共有した。</p> <p>(5) 毎朝の朝礼で「朝の奉獻の祈り」と「光塩生徒の姿」を唱えることで、光塩の生徒が目指す生徒像を確認している。 学期に1回テーマをもとに「学院の精神」をホームルームの時間におこない、建学の精神について考えを深めた。</p> <p>(6) 昨年度に引き続き、書類や提出物の電子化、データ化に取り組んでいる。今年度は校務支援システムを活用しての指導要録・調査書の作成、タブレットを活用しての朝学や授業アンケートの実施などに取り組んだ。</p> <p>(7) 授業以外にも様々な活動に ICT 機器を使用している。</p>
<p>反省 (振り返り)</p>	<p>(1) 朝学や朝読は生徒にとって非常に有意義な時間になっている。今年度よりタブレットを活用して取り組んでおり、今まで以上にしっかり振り返ることができている。漢字テストや英単テストも成績優秀者が多数おり、自ら学習する意識が身に付いてきている。課外授業や土曜登校日、個別学習においてもそれぞれ成果が表れている。</p> <p>(2) 新学習指導要領での学びに向け、各教科で検討しているが、もう少し早めに声掛けができればよかった。しっかり検討し、いい形でスタートできるようにしていきたい。</p> <p>(3) 今年度は研修があまり実施できなかったが、オンライン授業の実施など新たな取り組みをおこなうことができた。</p> <p>(4) 昨年度同様、研究授業に対して教科によって意識が違うので、全教科がおこなうための取り組みを考えていかなければならない。</p> <p>(5) 担当が毎回「学院の精神」の修正を行い、よりよい授業へと進化してきている。生徒同様、教員ももっとカトリック研修を行い、知識や幅広い考え方を身に付ける必要がある。</p> <p>(6) 様々な場面で業務改善がおこなえており、非常に効果的である。しかし、担当の準備が間に合わず実施を見送ったものもあったので、責任をもって準備にあたらなければならない。</p> <p>(7) 一人ひとりがタブレットを持っていることで、多くの場面で ICT 機器を活用する意識が高まってきている。有効に使用できている場面が多くあった。</p>
<p>評価 (5段階)</p>	<p>4</p>
<p>来年度へ向けて</p>	<p>新学習指導要領での学びをスムーズにスタートさせる。高校の新教育課程編成を迅速におこなう。 今年度できなかった課題を早急に改善していく。 さらなる効率化を目指して、簡素化できる業務を改善していく。 ICT 機器の更なる活用を促していく。</p>

進路指導	
目標（計画）	<p>高1：学習習慣を身につけ、基礎学力の確認・充実を図る。自分の適性を把握し、将来像を描く。</p> <p>高2：職業や学部・学科への知識を深め、自己の進路をより具体化する。</p> <p>高3：進路目標の達成のための学習計画を遂行し、就職や進学への本格的に取り組む。</p> <p>入試改革やコロナ対策の中での受験となり、正しい情報の収集、早急な対応、準備に努める。</p>
実施事項 （活動内容）	<ul style="list-style-type: none"> ・高1は11/13(金)、高2は6/2(火)、高3は6/12(金)にHRや総合的な探求の時間を利用して進路講話を実施。 ・高2は7月に進路適性検査を実施。 ・夏休みに夏期講習、冬休みに冬期講習を実施。夏休み短縮のため、例年に比べ短い期間での実施となった。 ・学期に1度実施している進路ガイダンスだが、1学期は中止した。2学期は市内の大学、企業以外はオンラインでの説明会を実施。3学期は職業理解の講座と、小論文対策の講座を行う予定である。 ・高2は10月に広島県の安田女子大学、広島文化学園大学、山口県内のYIC専門学校の3方向に分かれ訪問し、進路研究を行った。 ・高1は2月に至誠館大学を訪問し、進路研究を行った。 ・高1、2年の保護者対象の進路説明会を1/23(土)に実施。 ・就職希望者に対しては、就職サポーターの助言をもらいながら、企業訪問や面接練習を実施。 ・進学希望者に対しては、受験前に面接練習や小論文指導の実施。 ・毎月模擬試験の実施。
反省 （振り返り）	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生になっても目標がはっきりしない生徒もおり、今年度も進路先が未定のまま卒業する生徒がいる。1、2年での進路に対する意識向上の指導や、情報収集、保護者の理解などの必要性を改めて感じた。 ・コロナ対策のため、受験がオンライン面接やオンライン講座受講などに切り替えた大学が多かった。しかし、スムーズに対応できたのは、日ごろからタブレットを使い慣れた生徒や先生方のおかげである。 ・進学希望者への面接練習も予定表を事前に提示し、計画通りに進めることができた。今後も早めに予定を立て、余裕を持って受験に臨めるようにしたい。 ・初めて実施した高2の県外への大学訪問だったが、想像以上に生徒の反応が良く、進路に向けての意識が高まったようだった。来年度以降も実施していきたい。 ・オンラインでの進路ガイダンスを初めて実施したが、概ねスムーズに終わることができた。感染症対策で体験型のガイダンスができなかったのは残念だった。 ・1月に開催した進路説明会には多くの保護者の参加があった。今後も内容を工夫して継続していきたい。 ・高大連携している至誠館大学への進学者も増加し、今後も繋がりを大切にしていきたい。高1の至誠館大学訪問なども継続していきたい。
評価（5段階）	4
来年度へ向けて	<p>今年はコロナ禍で実施できなかった企画や行事が多かったが、来年度は工夫をして一つでも多くの計画、実施をしていきたい。また、来年度もコロナ対策が必要になるかもしれないので、その準備をしっかりと進めていきたい。正しい情報の収集、ポートフォリオ、ICTの活用など、課題は未だ山積しているが、生徒の進路実現を第一に考え、迅速に対応していきたい。また、高大連携事業をもっと増やし、遠方へのオープンキャンパスへの参加や、大学・専門学校訪問などは、進路選択の一助となるため継続していきたい。来年度は、教員・保護者の大学訪問も計画したいと思っている。</p> <p>就職希望者は少人数だが、希望の職種に就けるように今後もしっかりサポートしていきたい。</p>

生活指導	
目標（計画）	<p>生徒指導の目的 生徒一人ひとりの夢の実現に向けて、自分の言動に責任をもつことができる力（自己指導能力）を育成する。</p> <p>生活指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「規範意識を高める」「いじめを根絶する」 ・ルールやマナーを自ら守り、モラルの向上をめざす。 ・正しい服装をする。 ・遅刻をしない。 ・すすんであいさつをする。 ・場にあった正しい言葉づかいをする。 ・いじめを絶対に許さない。
実施事項 （活動内容）	<ul style="list-style-type: none"> ・試験期間中の校外巡視。 ・Fit や生活アンケートの実施 ・各学年による服装検査
反省 （振り返り）	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯・スマホ安心講習会がコロナの影響で講師派遣ができず実施できなかった。また、交通安全教室も実施できなかった。 ・今年度もいじめ認知件数が数件あった。重大事態に発展する前に未然に認知し担任・学年で対応した。 ・登校中の自転車事故が数件あった。どれもケガ等はなかったがいずれも朝、余裕をもって行動していないことが原因だった。 ・SNS の使用の仕方での注意・指導することがあった。学校では随時指導をしているが、各家庭でも使用状況の把握やルール作りが必要。
評価（5段階）	4
来年度へ向けて	<p>コミュニケーションがうまくとれず悩む生徒が増えている。生活指導だけの対応では難しい事案も増加しているので、引き続き教育相談やスクールカウンセラーと連携をしながら対応していきたい。</p> <p>生徒一人ひとりが校則の意味を考え主体的に判断し、行動できる力をつけられるように教育活動全体を通して指導していきたい。</p> <p>いじめの根絶に向けて、生徒のコミュニケーション力や人権意識を高める指導にも力を入れていきたい。</p>
教育相談	
目標（計画）	一人ひとりの子どもの自己実現に向けて、教育上の諸問題や不適応問題について、本人または、保護者、すべての教職員とともに解決に向けて取り組む。
実施事項 （活動内容）	<ul style="list-style-type: none"> ○「個別の支援計画」を持った生徒への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校との引き継ぎ ・保護者との事前教育相談 ・専門機関との引き継ぎ及び保護者を交えたケース会議 ・継続支援の実施 ・担任、教科担当への引き継ぎ ・本人と面談 ○気になる生徒の早期発見・早期対応 <ul style="list-style-type: none"> ・実態把握 ・必要に応じて面談と指導、支援の実施 ・学校生活実態から、必要な生徒の学年会議 ○ケース会議 <ul style="list-style-type: none"> ・問題発生の場合に、会議を実施 ・生活指導問題と関連して必要に応じて会議 ・スクールカウンセラー、担任と共に、実態把握や支援に繋げるための会議 ・スクールカウンセラー、担任との会議・保護者を交えての会議 ○情報収集 <ul style="list-style-type: none"> ・前年度末に小学校、中学校との引き継ぎ ・担任、教科担当への支援 ・本人への指導、支援、相談 ・保護者に対する相談窓口 ○専門機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関との連携 ・必要機関への訪問

	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールカウンセラーとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者、教員との面談 ・各学年、心理教育授業の実施 ・コロナ感染症の心のケア等の通信発行 ・卒業時の心理授業 ・いじめ対策委員会への参加と助言を受け対応の実際 ・生徒情報及び状況から助言を受け、対応の実際 ○いじめ対策委員会への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・生活指導と協力し、生活アンケート等からの会議 ・実態把握 ・いじめ事案のケース会議への参加
反省 (振り返り)	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症の対応で地域の集会在中止となり、地域との対応は、困難だった。そして、マスクのため生徒の表情が読み取れなかったり、顔を認識できなかったり、難しさを感じていた。生徒の不安がどこまでなのかを、読み取ることが難しい一年だった。そして、感染対策で面談や、相談も密には、できなかった。</p> <p>保健室が狭いため、新型コロナウイルス感染症予防により、休養をとる生徒、相談に来た生徒に対して、いつも以上に対応が難しく、気を使った。</p> <p>スクールカウンセラーにおいては、職員との関係が近くなり、気軽に意見を聞き合える体制になってきたので、もっと積極的に、相談の時間をつくり、問題解決に向けて助け、指導にも生かして欲しい。今年度は、相談活動の実施はできたが、十分なフィードバックができていなかったように思う。</p> <p>そして、相談室が教室と近いことと、放課後に周りからの音で集中できない様なので、相談室場所を考えなければならない。</p> <p>今年度は、生活指導部と教育相談部の体制作りを図ることができなかったように感じる。</p> <p>生徒の抱えている悩みや問題内容によっては、早急な連携と対応が必要であり、学校が、一体となって対応することができる様、校内体制を築き、教職員の意識を高めることも課題である。</p>
評価 (5段階)	4
来年度へ向けて	<p>各学年や各組織との連携を図り、問題が大きくならないうちに対応できるよう努めたい。担任が全てを抱えるのではなく、教育相談とも情報を共有し、共通理解に基づいた協力体制作りを図りたい。</p> <p>校内教育相談体制を明確にし、教職員が、気になる生徒に気づいた場合に行動がとれるよう、支援体制づくりをしなければならない。</p>
募 集	
目標 (計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・広報担当を中心に、円滑に募集活動を行う。 ・萩市内や長門市、山口市の宣伝を充実させる。 ・光塩会の協力を得る。
実施事項 (活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガイドやその縮小版をもとに、責任者(部長)を中心に計画と活動を実施した。 ・広報活動や広告、学校見学日やオープンスクール、萩ケーブルネットワークやはぎ時事への取材交渉などを広報担当が行った。 ・中学校訪問は、責任者を中心に萩市や長門市に加え、山口市内の学校にも新たに行った。教職員の学校訪問の負担軽減、業務改善を行うことができた。 ・小学校訪問は中学校教員を中心に年2回行った ・新聞折り込みチラシやTVCMなどメディアを利用した宣伝活動を行った。 ・Facebookで学校の活動をいち早く情報発信した。
反省 (振り返り)	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員だけでなく保護者の方々と連携をとって宣伝活動ができた。 ・光塩会の協力で市内ポスター掲示をスムーズに行うことができた。 ・新聞やテレビで本校の活動が多く取り上げられ、広く宣伝することができた。 ・Facebookにより、多くの人に本校の活動・取組について情報発信をした。 ・休校に伴う日程変更で、例年通りの学校訪問はできなかった。しかし、必要な訪問や学校説明会は確実に実施できた。

評価（5段階）	4
来年度へ向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・地元である萩・長門地区の生徒・保護者にこれまで以上に本校の魅力を発信する必要がある。 ・新たに訪問した山口市内の学校へに対して、より一層の情報発信を行い、生徒募集につなげていきたい。 ・他地域の生徒・保護者にも本校の取り組みや特色を伝えるため、各種メディアを活用していきたい。今後も、引き続き保護者協力を得る必要がある。
校 友 会	
目標（計画）	生徒が自ら喜びをもって活動できる学校を作る 新たな企画を行うと同時に、今までの行事を充実させる 委員会、部活動と連携し、活動の幅を広げる
実施事項 （活動内容）	<p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企画・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭（出し物） ・お楽しみ会 ・3年生を送る会 ○ボランティア活動 <ul style="list-style-type: none"> ・World Vision チャイルドスポンサー ・市内3校合同清掃活動 ○代議委員会（月目標決定）、中央委員会の開催 ○校友会新聞発行（各学期） ○朝のあいさつ運動、自転車の施錠点検の実施 ○生徒の要望をまとめ、学校に提出 ○行事等の進行、あいさつ（壮行式、学校見学日等） <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中学校の行事の企画・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・新入生歓迎会 ・文化祭（販売） ・ハロウィンパーティー ・クリスマス会 ・3年生を送る会 ○体育祭でのあいさつ ○朝のあいさつ運動 ○校友会新聞発行 ○募金活動（お菓子販売のとき）
反省 （振り返り）	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今まで行ってきた活動ができなくなってしまったものもあったが、内容の工夫や感染症対策を取りながら活動することができた。会長が中心となり、校友会執行部が互いに連携を取り合い、何事もスムーズに対応することができてよかった。各委員会もそれぞれの活動に責任をもって取り組んでおり、より良い学校づくりのために尽力した。</p> <p>中学校校友会執行部もいろいろなことに力を入れて取り組んでおり、大いに活躍した。</p>
評価（5段階）	4
来年度へ向けて	この状況がいつまで続くかわからないが、これからも感染対策をしっかりと取りながら、できる範囲で活動に取り組んでいきたい。また、World Vision チャイルドスポンサーの活動のように、本校ならではの活動をもっと増やしていけたらと考えている。状況を見て、東京光塩との交流も実施していきたい。

国際交流活動	
目標	生徒の視野を広げるため、積極的に外国の方との交流の機会を計画する。世界共通語としての英語を使う体験を通し、日頃の学習意欲の向上につなげる。
実施事項	新型コロナウイルス感染症の影響で、海外からの訪問や、海外への修学旅行など、本校が行ってきた国際交流がすべてできなくなってしまった。しかし、このような中でも中学校ではフィリピンのメルセス会の小学校とのリモートでの交流や山口県の国際交流院との交流などを計画してきた。色々な事情でこれらは実現しなかったが、萩市在住のアメリカ出身の方に来ていただき、生徒が行う萩市や学校生活のプレゼンテーションを見てもらったり、生徒の質問に答えてもらうという交流を行うことができたのは一つの成果だった。
反省	中学生だけだったが、交流ができたことは良かった。
評価（5段階）	3
来年度へ向けて	新型コロナウイルス感染症の影響がいつまで続くか分からないが、リモートを活用した交流などを積極的に進めていくなどして、新たな方法を探っていきたい。
ボランティア活動	
目標（計画）	「奉仕の精神」を養う場、地域貢献の場として重要な活動と位置づけ、生徒が積極的に取り組めるようにする。地域貢献、異文化理解を柱に活動するメルセダリアン・インターアクトクラブ及び、学期末のボランティアへの登録者（インターアクター）を中心に活動を続ける。生徒自身に自覚を持たせ、活動に取り組ませる。
実施事項 （活動内容）	<p>例年行っている施設訪問の代わりに、1学期末に高校3年生が市内3か所（萩カトリック教会、キリシタン殉教者記念公園、東萩駅周辺）で清掃活動を行った（高校1、2年生は3学期末に実施）。年間を通して「老人ホームへの手紙」の活動を行った生徒もいる。</p> <p>宗教委員会の呼びかけで、物資の収集、支援は活発に行っていた。今年度は使用済み切手の収集、募金活動（クリスマス献金等）、物資支援（ほしの家、釜ヶ崎越冬支援）、書き損じハガキ収集等を行った。</p> <p>夏休みには、メルセダリアン・インターアクトクラブの代表生徒が、提唱クラブである萩ロータリークラブに昨年度の活動報告を行った。</p> <p>その他、3学期の「はたちの献血キャンペーン」ボランティア、校友会を中心とする他校と合同の市内清掃活動は今年度も実施され、どちらも定員いっぱいの子が参加した。「はたちの献血キャンペーン」ボランティアは研修の意味合いが強く、呼びかけや風船・カイロの配布などの時間は少なかったが、その分献血の重要性を意識して活動ができた。</p> <p>今年度は3月に実施される「わくわくキッズフェスタ」の学生ボランティアへの参加が最後の活動となりそうである。</p>
反省 （振り返り）	今年度はコロナウイルス感染症のためボランティア等の募集がなく、学校外での活動がほとんどできず、代替の活動もあまり行えなかった。
評価（5段階）	3
来年度へ向けて	今年度ほとんどできなかった活動の機会を、生徒たちに提供できるようにしたい。活動をしたいと考えている生徒は多くいる。今後も活動に制限があると考えられるが、方法を考えていきたい。
業務改善	
目標	教職員の業務内容を見直すことにより、労働時間の短縮を図り、かつ教材研究など本来の業務に充てる時間を確保する。
実施事項	校務支援システム BLEND による調査書、学籍簿の記入 Classi による授業アンケートの実施 すべての校舎内での Wi-Fi 環境、ほとんどの教室にプロジェクターを整備することによって、授業などが行いやすくなった。

	ロイロノートによる各種会議研修資料の配付
反省	BLEMDでの調査書は初めての試みのため、書式などがなかなか思うようにならなかったが、一応の形は整った。 Classiによる授業アンケートは自動で集計が行われるので、学期末に時間がとられることが無く良かった。 ロイロノートで資料を配布することで、印刷の手間と費用が省け、配布も簡単になった。教員も多くの資料を整理するのが簡単になった。
評価（5段階）	4
来年度へ向けて	BLENDでの成績処理等を進めていく。これまでのClassi、ロイロノート、まちComiなども利用の幅を広げ、保護者からの欠席連絡なども簡単確実に行えるようにしていきたい。

3 保護者からの意見

学校清掃作業（8月1日）

1. 朝早い時間からのスタートだったので作業がし易かったです。
2. 役割分担ができていてスムーズに作業できていたので良かったと思います。
3. 仕事など、その他の用事でお手伝いできない保護者が多い中で何とか無事に行われたと思います。草を運搬するまで行われた環境の役員の方、大変お疲れ様でした。道具が用意できる保護者を事前に確認しておいたことも良かったと思います。
4. 多くの方の参加でスムーズに終わったと思います。草刈り機がまだあれば良い。軽トラで草を捨てに行かれた方が、下ろすのに苦労されたのでは…。ダンプか、他に人を連れて行くかの方が良いのでは。
5. 朝の涼しい時間帯での活動、よかったですと思います。
6. お忙しい中多くの保護者、先生方が参加されていました。生徒達もすすんで参加して、短い時間で作業が終わったように思います。
7. この時期に最善のやり方だったと思う。朝早く作業を開始したので、涼しいうちにでき良かった。
8. 皆様お疲れ様でした。当日、飲物を配ってくださりありがとうございました。

体育祭（9月6日）

1. 台風の心配がありましたが、暑過ぎずの気候で、体調不良になる生徒も少なくよかったです。くもりでも運動場に散水してくださったりと熱中症対策にも感謝。
2. 毎年思うこと・・・子どもよりも保護者よりも先生達の一生懸命な姿がいつも素晴らしく感謝しています。
3. 学校によっては体育祭中止となった学校もたくさんある中、開催することができて本当に良かったと思います。天気にも恵まれ子どもたちの生き生きしている姿が頼もしいものでした。また密を避けるためオリジナルの演技もあり楽しく見ることができました。何でも中止中止とされる中、子どもたちのためにという先生方の思いに感謝しています。
4. 今年度はコロナの影響で入り口での検温の手伝いなど、より多くの保護者の手伝いが必要でしたが、多くの保護者の協力があり、また検温や許可証の提示でも皆様のご理解とご協力があり、大きなトラブルもなく無事に入場口での手伝いを終えることができました。
5. コロナ禍で、多くの地域行事や各種大会などが中止・縮小されている中での開催でしたが、対策がしっかりとられ例年通りの体育祭が実施できて、子供たちも楽しめてよい思い出になったと思います。
6. 例年通りのプログラム内容とはいきませんでした。生徒達の一生懸命な姿を見ることができとても良かったです。競技内容も工夫されていて、見ていて楽しかったです。テント内での保護者の方達のマナー（離れて座るなど）が大変良かったです。
7. コロナ禍ならではの工夫された競技があり、とても楽しく思い出に残る体育祭だったと思います。
8. 他校は午前中開催が多かったので、午前中だけでも良かったのではないかと思います。（暑い時期でもありますし）

9. 密を避ける対策でテント内のシートを省き椅子などの対応でしたが、結局密になっていたと思います。
10. コロナ対策ができていて良かった。出入の際の確認印について、午前中には印の枠が一杯になっている人もいたので、対策が必要ではないかと感じた（回数制限など）。コロナ対策が今年のみなら問題はないです。
11. 心配される台風・コロナ対策の中、開催有り難うございました。伝統ダンスや盛り上がる応援合戦、リレーを観戦でき良かったです。また、最善のコロナ対策でお互い安心安全で良かったです。当日もそこまで混乱することもなく皆様協力的だと思いました。
12. 体育祭では、生徒さん達が一致団結をして明るく元気に取り組まれていたと思いました。会場警備をさせて頂きました。保護者やご家族の方々が会場の許可証の出し入れにとても良く協力をして頂くことができたと思いました。
13. 体育祭で子どもが活躍する姿を見ることができうれしかったです。部活動対抗リレーは第一走者がスタート地点に着いてから、部の紹介をしてくださると嬉しいです。

文化祭（9月26日）

1. リモート中継のトラブルがありました。コロナ対策もされ見応えがある文化祭でした。
2. 新しい試みとしてリモート文化祭は、思った以上によくできていました。クラス紹介も子どもたちのオリジナリティーが出ていて、笑いもあり見ていて楽しかったです。トラブルは少しありましたが、それはそれで面白かったです。
3. 映像ばかりで少し物足りなかつた感じです。
4. 体育祭同様、コロナ対策もしっかりとられ、文化祭も盛り上がり全体的に良かったと思います。書道部の実演ができなかつたことと、変わりの動画でスクリーンが見にくく音が割れていたのが残念でした。
5. 文化部の活動の様子や、クラスの様子がよく分かる文化祭でした。特にクラスの動画は、日頃見ることができない学校での様子を見ることができ良かったです。今年は展示が武道館でしたが、逆に、落ち着いて見ることができました。
6. 有志や書道部が動画だったので残念でしたが、コロナ対策なので仕方ないことだなどと思いました。今年も楽しませて頂きました。
7. 仕方ないことだが少し盛り上がり欠けていた。しかし行えてだけでも良かった。
8. リモートの時代、令和の時代の文化祭だなどと思いました。やれることを最大限に子供たちも理解している姿に感動しました。
9. 縮小しての文化祭でしたが、リモートや動画などで工夫して開催して下さりありがとうございました。パンフレットの文字（タイトル）がとてつキレイで驚きました。早くコロナウィルスが終息しますように！

キャロルコンクール・クリスマス祝い（12月22日）

1. キャロルコンクールに向けて、一生懸命に歌の練習を学校でしている様子を伝えてくれました。クリスマスの時期には、クリスマス本来の意味を考えたり、朝礼の言葉（HPで見えています）のお話を讀んだりして、私も人への関わり方について考えさせられます。子供たちも自分のことばかりではなく、人のことも考えることができる優しい心が育っていると思います。
2. キャロルコンクールの日は、子どもが学校から帰ってきて、順位を聞くのが楽しみです。朝練も放課後も頑張っていたので、応援していました。一生懸命やるから悔しさもあるようで、それをバネにしてまた次を頑張ってもらいたいです。クリスマスの祝いも、同じようにゲームやビンゴの話をよく聞きます。今まで仕事を理由になかなか見に行くことができなかったのが残念なのと後悔もしています。でもコロナの関係で色々中止になる中、子供たちのために考えて下さることに感謝しています。
3. 活動の様子を文化祭のときのように映像化して見れるとうれしいなと思いました。
4. フェイスブックで様子が伝えられていて良かったです。

生徒の校内・校外での様子

1. 少しザワついているようです。
2. 生徒の悪い噂も聞かず、特に言うことはないです。皆、このコロナ禍の中、部活動・学校生活、よく頑張っていると思います。

3. 節度ある生活をしているように思います。
4. 高校生女子数人が学校のすぐ側でスマホを操作しながら歩いていたのを見かけ、少し残念な気持ちになりました。
5. 悪い意味で目立った話は聞いていません。校外であいさつをしてくれる生徒もいて、とても良いと思います。
6. 校内で生徒に会うと大きな声で挨拶をしてくれます。とても気持ちがいいです。でも、みんながみんなではないので…。声に出さなくても会釈の一つでも違うと思います。ひとりひとりが心掛けていけばいいなあと思います。
7. テニスコートの側を通るたびに元気よく挨拶をして下さり、とっても気持ちよく感じました。
8. (去年からですが)今年部活もできず、3年生は本当に残念な一年でした。本人は楽しんで学校に行っていますが…。

その他、何でもご記入ください。

1. 一年間、生徒達もストレスが大変だったと思います。友達間の絆をととても大切にしているように感じました。早く通常の生活に戻れば良いと思います。
2. 様々な制限がある中、体育祭や文化祭などの行事を行っていただきうれしく思います。例年通りの行事や部活動の大会などが、中止や形を変えての実施は、子どもにとってつらくやりきれない思いもあったと思いますが、ひたむきに一步一步進んで行ってくれたように思います。これも先生方のおかげです。いつも励ましたり支えてくださったりして本当にありがとうございます。
3. ボランティアに興味があるので、保護者としてできることがあれば協力したい。それをきっかけに子どもと考える時間が作れても良いのではと思う。
4. 一年間お世話になりました。コロナの関係で行事が中止になったり縮小されたりと、まだまだこの状況は続きます。そんな中で子供たちのためにいろいろと考えていただき、発表できる場や披露する場をつくっていただけることに感謝しています。なかなか役員として協力できることが少なかったのですが、楽しく過ごさせてもらいました。長女から8年間、中学校にはお世話になりました。先生方には、時には厳しく時には優しく接していただき、成長することができました。いつもあたたかく見守っていただき有り難うございました。本当にお世話になりました。
5. 3年間本当にお世話になりました。上の娘も光塩で本当に良かったと思います。色々なことを学ばせていただき、のびのび楽しんで学校に行っていました。本当にありがとうございます。いつも子供たちへのご指導、ありがとうございます。毎日、楽しく登校できるのも、先生方のおかげです。光塩の生徒さん達は、明るくて、挨拶もよくしてくれます。こちら元気をもらっています。
6. コロナ禍の影響の中での日々の学校生活やクラブ活動まで、制限することが多い日常ですが、生徒達の明るい笑顔を見ると少し安心します。先生方も何かと大変と思いますが、よろしくお願いします。
7. いつも挨拶をよくする生徒に心が明るくなります。雨の日の保護者の送迎の駐車マナーを残念に思う方が多い気がします。きちんとされている方の邪魔になる止め方、ほんのちょっとの事・時間のつもりでしょうが…
8. Facebookなどで学校の様子を見ることができ、安心できます。ありがとうございます。

4 教員の自己評価と外部評価

教育目標をもとに 25 の項目を立て、教員一人ひとりが自己評価を行い、評議員に外部評価をお願いした。それぞれの項目について評価は 1～5 の 5 段階で行い、その平均を示した。

1. 2020 年度 学校目標			自己評価	外部評価	
1	教育目標	自分のまわりに喜びと光をまく人として、将来社会に貢献できる人材の育成に努めた	3.8	4.8	
2		建学の精神をふまえ、すべての生徒がその個性と能力を最大限発揮できるようかかわった	3.7	4.6	
3	生徒に身をつけた たいさ	主体的に学び、目標に向かって最後までやり抜く生徒の育成に努めた（基礎学力の定着、学力 UP）	3.6	4.7	
4		他者とかかわり、社会で働く知識と技能を身につける生徒の育成に努めた（コミュニケーション力の育成）	3.7	4.6	
5		自ら課題を発見し解決していく生徒の育成に努めた（自ら考え、判断し、表現する力の育成）	3.5	4.6	
6	私たちの ミッション	萩光塩学院の教育理念を理解し、それを学校教育において日々具現化し、充実・発展させた	3.8	4.8	
7		各教科で研究を行い、生徒の基礎学力の定着と応用力の発展に努めた（具体的な取組みを考えた。行った）	3.5	4.6	
8		生徒の進路実現に向けて、現状の課題をみつけ、対策・強化に努めた（新入試制度に対応した取組みを実施）	3.4	4.8	
9		地域との連携・協働を通じて生徒の役割や活動の場を増やし、生徒の自己肯定感の醸成を図った	2.9	4.9	
10	めざす 教師像	教育的 情熱・ 真剣さ	理想を掲げ、具体的な目標に向かって生徒と共に汗を流した	3.8	4.6
11			生徒一人ひとりのよさや可能性を引き出し、のばすことができた	3.5	4.4
12			受容的姿勢を大切にすると共に、生徒の将来を意識して「是は是、非は非」とした指導ができた	3.8	4.4
13			真摯な態度で職務に取り組み、モラルの向上と綱紀の保持に努めた	3.9	4.5
14	めざす 教師像	教育的 力量	教科研究・教科指導に積極的に取り組んだ	3.9	4.5
15			責任をもって自分の責任を果たすと共に組織の一員であることを忘れず、助け合うことができた	3.8	4.6
16			生徒や保護者、地域との連携を図り、迅速に対応することが信頼関係を築けた	3.5	4.5
17			地域との交流を深化し、地域が本校に求める情報等を入手し、学校運営等に反映させた	3.1	4.5
18	人間力を 高める 総合的な	総合的な 人間力を 高める	日常生活全てにおいて、前向きに自分自身を成長させていこうとする考えや姿勢をもって行動した	3.7	4.3
19			自ら考え、工夫し、チャレンジ精神を忘れず実践した	3.8	4.3
20			自らの個性や特技を積極的に発揮することができた	3.6	4.5

21	教職員全員で気をつけて取り組む5項目 『決まりを守る』	綱紀保持に努めた ・体罰、暴言、飲酒運転、交通事故、情報管理、セクハラ、パワハラ、公金管理、言葉使い等	4.2	4.6
22		教職員同士の連携強化に積極的に努めた ・PDCA サイクルに則って、分掌間の情報を共有し、OJT の推進に努めた ・諸会議の計画的効率化に努めた（時間の有効活用のため事前の計画・準備を忘れずおこなった）	3.6	4.2
23		学校施設・設備・備品の管理、取扱いに気をつけた ・学校備品の整理整頓、使用後の清掃などをきちんとおこなった	4.3	4.3
24		時間を守る ・授業の開始と終了、ホームルームの開始と終了、掃除・勤務時間等の厳守に努めた	3.9	4.6
25		提出物の期限を守る ・外部、内部の提出物の期限は確実に守った	3.9	4.6

5 学校関係者評価委員会の意見	
募集	<ul style="list-style-type: none"> ● 就学支援金制度のこともあるかもしれないが、入学者数が増加したということは、部活動の活躍や教育方法など、萩光塩に中学生や地域の目が向いているということであろう。
教務	<ul style="list-style-type: none"> ● オンライン教育などを積極的に行っていたことは良かった。 ● 家で全然勉強していないが、希望の高校に合格し、学校でしっかり面倒を見て下さっているのだと感じた。
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ● 生徒が非常に元気でしっかりしている。 ● 子供が家ですごく明るく過ごしている。少々のがあってもへこたれずにやっていく力がついている。 ● コロナウィルスのため日頃とちがったストレスを抱えている生徒もいると思われるので、心のケアをしっかりとってあげてほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● バザーの代わりに行ったお菓子販売会を知らなかったという人が多くいたので、もう少し宣伝などをした方が良かったのではないかと。